平成13年度

アイヌ語ラジオ講座テキスト

10月▶12月
2001
Vol.2
（Part1）

講師のプロフィール

上（うえ）武（たけ）和（かず）臣（とみ）

●1961年　登別市幌別町に生まれる。
●1978年　登別市でのアイヌ共同墓地破壊問題を契機に北海道ウタリ協会登別支部活動に参加する。
●1995年　北海道ウタリ協会登別支部事務局次長となり、現在に至る。

協力者の紹介

切（きり）替（かえ）英（ひで）雄（お）　（北海学園大学助教授）
富（と）樫（がし）利（とし）一（かず）　（知里真志保を語る会会員）

【登別アイヌ語教室の活動について】

登別アイヌ語教室は、第2、第3火曜日、18時30分から20時30分まで登別市鉄南ふれあいセンターで開設しています（日程は行事等により変更があります）。
なお、当アイヌ語教室に関するお問い合わせ先は、次のとおりです。
TEL　0143-85-1062（北海道ウタリ協会登別支部）

【テキストの表記法について】

現在のところアイヌ語には共通語というものはなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言（幌別の方言）をベースにしています。

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	回	日	テーマ
10月	1	7日	「感謝の言葉」と「～しなさい（命令文）」について
	2	14日	「～ですか（疑問文）」について
	3	21日	「…しない（ソモ somo の使い方）」について
	4	28日	「～する、～した（時制）」について
11月	5	4日	「人称」について
	6	11日	「感嘆文」について
	7	18日	「動詞の単数・複数」について
	8	25日	「私の～（所有）」について　①
12月	9	2日	「私の～（所有）」について　②
	10	9日	「主語と目的語の関係（不定人称）」について
	11	16日	「主語や目的語を強調する（人称代名詞）」について
	12	23日	「シリ」「ハウェ」の使い方について
	13	30日	「…している」について

Lesson 1 「感謝の言葉」と「〜しなさい（命令文）」について

例　文

1．トペンペ　アン　ナ.
tópenpe　án　na.
お菓子　ある　よ

2．エ　ヤン！　オ.
é　yan!　o.
食べ　なさい　ほら（どうぞ）

3．イヤイライケレ．ソンノ　ケラアン.
iyáyraykere.　sónno　kéra ’ án.
ありがとう　本当に　おいしい

4．ヒオーイオイ.
híoy ’ oy.
ありがとう

日本語訳

1．お菓子がありますよ。
2．食べなさい。ほらどうぞ。
3．ありがとう。本当においしいです。
4．ありがとう。

単　語

- トペンペ［お菓子］
- エ［〜を食べる］
- オ［何かを渡す時などの掛声］
- ソンノ［本当に］
- ヒオーイオイ［ありがとう］
- アン［ある、いる］
- ヤン［〜しなさい、〜してください］
- イヤイライケレ［ありがとう］
- ケラアン［おいしい］

アイヌ語の解説

■「感謝の言葉」について

感謝を表す言葉として最も一般的に使われるのは、「イヤイライケレ（iyáyraykere）」です。この言葉は男女ともに使われますが、女性だけが使う「ヒオーイオイ（híoy ’oy）」という言葉もあります。これは、何かもらったときや用事をお願いした場合などに使われました。

■「命令文」について

「エ!（e!）」で「食べなさい」という意味になります。つまり、「〜しなさい」という時には、動詞を言うだけでよいのですが、これは相手が一人の場合に限ります。相手が複数の場合や丁寧に言う場合には、動詞の後ろに「ヤン（yan）」という言葉を付けます。

使えるひとこと

◇　イランカラㇷ゚テ（iránkarapte）「こんにちは」
本来は、正式な挨拶を行うときに使われた言葉で、「ご挨拶申し上げます」という意味があります。

MEMO

アイヌ文化の紹介　シヨキナ（siyokina）のお話し　①

むかし、むかし、太平洋に大きなおそろしいかいじゅうがいました。そのかいじゅうは魚の形をしていて頭から尾までの長さが、12,000メートルもあり、口を開けば上のあごが天までとどき、下のあごが海の底につくほどでした。背中は大きな山のように高く、かいじゅうが泳ぎ始めると海の水があふれて、陸の上に大波がおしよせました。

かいじゅうはクジラのような形をしていたので、人間たちは「シヨキナ」（siyokina）と呼んでいました。「大きい、大きい、クジラ」「にくいクジラ!くそったれクジラ」という意味でしょうか。

Lesson 2 「～ですか（疑問文）」について

例 文

1．	ネン カ	アン？	まりこ	クネ	ルウェ ネ.
	nén-ka	án?	Mariko	ku=né	ruwe ne.
	誰か	いる	まりこ	私が～である	…である

2．	まりこ	エネ	ルウェ？	ルウェ	ウン.
	Mariko	e=né	ruwe?	ruwe	un.
	まりこ	君が～である	か	（はい）	そうです

3．	エイワンケ	ヤ？	クイワンケ	ワ.
	e=íwanke	ya?	ku=íwanke	wa.
	お前が元気である	か	私が元気である	…よ

日本語訳

1．誰かいるの？　まりこです。
2．まりこかい？　そうです。
3．元気かい？　元気ですよ。

単語

- ネン カ［誰か］
- ルウェ ネ［…である］
- ルウェ ウン［そうです］
- ワ［…よ］
- ネ［～である］
- ルウェ［…なのか］
- イワンケ［元気である］

アイヌ語の解説

■疑問文の作り方

「～ですか」と尋ねるときには、特に何も付けずに文の終わりを少しあげて発音したり、「ヤ（ya）？」「ルウェ（ruwe）？」などの語を文末に付けたりします。

■疑問文の答え方

例文２や３のように「～ですか」と尋ねられて「はい」と答える場合には、いくつかのパターンがあります。

	尋ね方	答え方
パターン　①	～ルウェ（ruwe）？	ルウェ　ウン（ruwe un）
パターン　②	～ヤ（ya）？	オウム返しのように答える
パターン　③	文末をあげて発音	

使えるひとこと

◇　アフプ　ヤン！（ahúp yan!）「お入り下さい」
お客さんを家に招き入れるときに使える言葉です。

MEMO

アイヌ文化の紹介　シヨキナ（siyokina）のお話し　②

シヨキナは魚もクジラも人間の舟までもみんな食べてしまうので、人間たちは大へんこまっていました。そこで、天のカムイ（kanna kamuy）に助けてくれるようにたのみました。カムイはカワウソのカムイにシヨキナをたいじするように命令をしました。

カワウソのカムイは海を泳いでシヨキナの前に立ち、刀で切りつけようと思って、腰にさしてある刀を探しましたが見つかりません。「しまった!刀を忘れた。オーイ、だれか刀を貸してくれ!刀がなければシヨキナに負けてしまう。だれか刀を貸してくれ!」と大声で叫びました。ひろい海を逃げまわりながら陸に向かって頼みましたが、みんなシヨキナがおそろしくてカワウソの言うことを聞かないふりをしています。

Lesson 3 「…しない（ソモ somo の使い方）」について

例　文

1．クオマン　ルウェ　ネ　ワ.
ku=óman　ruwe　ne　wa.
私が行く　…である　…よ

2．ソモ　クオマン　ルウェ　ネ　ワ.
somó　ku=óman　ruwe　ne　wa.
…しない　私が行く　…である　…よ

3．クオマン　（カ）ソモ　キ　ルウェ　ネ　ワ.
ku=óman　(ka) somó ki　ruwe　ne　wa.
私が行く　～しない　…である　…よ

4．ネㇷ゚　クス　エオマン　ソモ　キ？
nép　kusu　e=óman　somó　ki?
どうして　お前が行く　…しない

5．クシンキ　クス　ソモ　クオマン　ルスイ.
ku=sínki　kusu　somó　ku=óman　rusuy.
私が疲れる　…だから　…しない　私が行く　…したい

日本語訳

1．私は行ったよ。
2．私は行かなかったよ。
3．　〃
4．どうして行かないの？
5．疲れたから行きたくないんです。

単　語

● オマン［行く］
● ネㇷ゚　クス［どうして、なぜ］
● クス［…だから］
● ソモ［…しない］
● シンキ［疲れる］
● ルスイ［…したい］

アイヌ語の解説

■「…しない」の言い方

「…しない」というときには、「ソモ（somó）」という語を「～する」にあたる動詞の前に置きます。または、「〔カ〕ソモ　キ（〔ka〕somo　ki）」という語を動詞の後に置いても同じ意味になります。

■「いいえ」の言い方

何か尋ねられて「いいえ」と答えたい場合は、「ソモ（somó）」と答えれば良いのです。

使えるひとこと

◇　エヌ　ヤ？（e=nú　ya？）「聞こえるかい？」
近くにいる人を呼びかけるときに使える言葉です。

MEMO

アイヌ文化の紹介　シヨキナ（siyokina）のお話し　③

もう少しでカワウソがシヨキナに食べられそうになった時、登別のコタンカルカムイが「カワウソのカムイよ。何をあわてているのだい。お前さんはこしに刀をさしているではないか。」と教えてやりました。あわて者のカワウソのカムイは、刀を持っていることをすっかり忘れていたのです。

Lesson 4 「～する、～した（時制）」について

例　文

1．	ニサッタ	ヌプルペッ	オルン	エオマン	ヤ？
	nisátta	Nupúrpet	or un	e=óman	ya?
	明日	登別	…の所へ	お前が行く	か

2．	ヌマン	クシノッ	カスイ	ルウェ	ネ	ワ.
	núman	ku=sínot	kasúy	ruwe	ne	wa.
	昨日	私が遊ぶ	…しすぎる	…である		…よ

3．	ニサッタ	アチャ	エㇰ	ヤ？
	nisátta	áca	ék	ya?
	明日	おじさん	来る	か

4．	ヌマン	アチャ	エㇰ	ヤ？
	núman	áca	ék	ya?
	昨日	おじさん	来る	か

日本語訳

1．明日は登別へ行くのかい？
2．昨日遊びすぎたんですよ。
3．明日、おじさんは来るの？
4．昨日、おじさんは来たの？

単　語

- ニサッタ［明日］
- オルン［…の所へ］
- シノッ［遊ぶ］
- アチャ［おじさん］
- ヌプルペッ［登別］
- ヌマン［昨日］
- カスイ［…しすぎる］
- エㇰ［来る］

アイヌ語の解説

■時制表現

アイヌ語は「～する」と「～した」を通常は区別して表しません。動詞の形で区別するのではなく、文脈や「ニサッタ（nisátta）」などの副詞によって区別します。

使えるひとこと

◇　スイ　ウヌカラン　ロー！（súy unúkar=an ro!）「また、会いましょう」
「さようなら」という意味で使える言葉です。

MEMO

アイヌ文化の紹介　シヨキナ（siyokina）のお話し　④

カワウソのカムイは、きらりと刀をぬいてシヨキナに向かっていきました。「くそったれクジラめ!」とばっさりと切ってしまったのです。そうしてコタンカルカムイに「どうもありがとう。お礼にシヨキナの頭をあげよう。」と言いながら頭をひっぱってきて登別川の川口に、胴体はワシ別川の川口に置きました。

シヨキナの頭と胴体は、今も登別とワシ別にあり、「フンペサパ」（humpesapa）、クジラ岬と呼ばれて「カムイノミ」（kamuynomi：神に祈る）をする所となっています。

（知里真志保・ユーカラの人々とその生活、海の神の崇拝「その二」知里真志保著作集3<平凡社>より）

Lesson 5　「人称」について

例　文

1．	ネウン	エチパイェ？			
	néun	eci=payé?			
	どこへ	お前達が行く			

2．	エイガ	チヌカㇻ	クス	サッポロ	オルン
	Eiga	ci=nukár	kusu	Sapporo	or un
	映画	私達が～を見る	…するために	札幌	…の所へ
	パイェアㇱ	ルウェ	ネ	ナ.	
	payé=as	ruwe	ne	na.	
	行く、私達が	…である		…よ	

3．	タネ	クオマン	カ	エアイカㇷ゚	ナ.
	tané	ku=óman	ka	eáykap	na.
	今	私が、行く	…も	～できない	…よ

日本語訳

1．どこへ行くの？
2．映画を見るために札幌へ行くんですよ。
3．今、行けないんだよ。

単　語

- ネウン［どこへ］
- ヌカㇻ［～を見る］
- タネ［今］
- パイェ［行く（オマンの複数形）］
- オルン［…の所へ］
- エアイカㇷ゚［～できない］

アイヌ語の解説

■人称について

例文では、エチ（eci=）「お前達が」やアㇱ（as=）「私達が」やク（ku=）「私が」が記されていますが、日本語で書き表す場合には、「お前たち」や「私たち」や「私」を意味する語が省略される場合があります。

このように、日本語では代名詞を省略することもできますが、**アイヌ語の人称接辞は絶対に省略できません**。

この主格の人称接辞を一覧表にしてみました。なお、3人称の主語を表す接辞はありません。

人　称	単　数	複　数
1	私が ク　ku=	私たちが（話し相手を含まない） チ　ci=（他動詞） アㇱ=as（自動詞） 私たちが（話し相手を含む） ア　a=（他動詞） アン=an（自動詞）
2	お前が エ　e=	お前達が エチ　eci=

使えるひとこと

◇　アプンノ　パイェ　ヤン！（apúnno payé yan!）「気をつけてお行きなさい」
◇　アプンノ　アㇷ゚カㇱ　ヤン！（apúnno ápkas yan!）「気をつけて歩きなさい」

他の「さようなら」の言い方で、家の人が帰る人に言う言葉です。

アイヌ文化の紹介　「コタンカルカムイ」は「オキクルミ」か？　①

「ショキナ」の話にも出てきますが、「コタンカルカムイ」とはどんなカムイだったのでしょうか。そもそもアイヌ民族にとって「カムイ」とは、火や水、太陽や月、動物、植物、地震や雷などの自然現象や病気、又人間の手で作られた舟や臼、杵などの道具類などもカムイと言われていますが、「コタンカルカムイ」についてははっきりしていません。「コタンを作った神」「コタンを守る神」「シマフクロウの事」「村のリーダー」等々、いろいろと考えられました。

Lesson 6　「感嘆文」について

例　文

1．	タント	シㇼピㇼカ	シリ！	
	tánto	sírpirka	sirí!	
	今日	天気が良い	…だなあ	
2．	クポㇷ゚ケ	フミ！		
	ku=pópke	humí!		
	私が暖かい	…だなあ		
3．	イラヤㇷ゚カ！	ウナㇻペ	モンライケ	ハウェ！
	iráyapka!	unárpe	mónrayke	hawé!
	偉いなあ	おばさん	働く	…だなあ

日本語訳

1．今日はいい天気だなあ！
2．暖かいなあ！
3．偉いなあ！　おばさん働いてるなんて！

単語

- シㇼピㇼカ［天気が良い］
- ポㇷ゚ケ［暖かい］
- イラヤㇷ゚カ［偉い］
- ハウェ［…だなあ］
- シリ［…だなあ］
- フミ［…だなあ］
- モンライケ［働く］

アイヌ語の解説

■感嘆文について

感嘆文は、シリ（sirí）フミ（humí）ハウェ（hawé）などを使って表現します。**「シリ」は目で見た様子**に対して、**「フミ」は視覚以外の感覚**に対して、**「ハウェ」は人から聞いた話**に対して感嘆した場合に用います。

このような感嘆文は感心したりほめたりする場合だけではなく、苦しいとかつらいとかいうことを表現する場合にも用いられます。

使えるひとこと

◇　アㇷ゚ンノ　オカイ　ヤン！（apúnno okáy yan!）「気をつけてお暮らし下さい」
◇　ピㇼカノ　オカイ　ヤン！（pírkano okáy yan!）「よくお暮らし下さい」

他の「さようなら」の言い方で、帰る人が家の人に言う言葉です。

アイヌ文化の紹介　「コタンカルカムイ」は「オキクルミ」か？　②

そこで、知里真志保の「アイヌの創造神コタンカルカムイの起原的考察」という論文から考えてみましょう。

「コタンカルカムイ」は「コタンを作った神」でアイヌモシリ（人間世界）の草分の神であるが、その正体は明らかでない。地方によって、あるいは語る人によって呼び名が異なっているのでちょっと整理してみましょう。

◇ コタン・ヌ・クル ………千島＝コタンコルクル（北海道）
◇ アイヌラックル ………人間の文化の基を開いた神、人間くさいおかた
◇ オアイヌオルシクル …北見地方「そこから人間が発生した神」
◇ ワリウネクル …………胆振・日高の沙流「そこから人々が繁殖した者である神」
◇ ヤイレスポ ……………樺太「自らを育てた子」
◇ アエオイナカムイ ……「アイヌラックル」の別名
◇ オイナカムイ …………巫術（ふじゅつ）を行う神
「オイナ」は巫術に入ること、又は神謡のことも言う。
神謡は巫術の託宣の歌から発達したもの。
◇ サマイエクル …………託宣（神のおつげ）を言う神
◇ オキクルミ ……………裾きらきらする皮ごろも着る神（巫術をする時に着る着物からその名前ができた）

Lesson 7 「動詞の単数・複数」について

例文

1．

ペトッタ	ラパㇱ	ワ	チェㇷ゚	ポロンノ	チコイキ	ワ	アㇻキアㇱ	ルウェ	ネ.
pet-ór-ta	ráp=as	wa	cép	porónno	ci=kóyki	wa	árki=as	ruwe	ne.
川に	下りる、私達が	…して	魚	たくさん	私達が〜を獲る	…して	来る、私達	…である	

2．

クアニ	アナㇰ	アトゥイ	サㇺ	タ	クサン	ワ
kuáni	ańak	atúy	sám	ta	ku=sán	wa
私	は	海	…のそば	…に	私が下りる	…して

クペライ	コㇿカ	シネㇷ゚	カ	クコイキ	エアイカㇷ゚.
ku=péray	korka	sinép	ka	ku=kóyki	eáykap.
私が釣る	…けれど	１匹	…も	私が〜を獲る	…できない

3．

チェㇷ゚	アスイパ	ワ	アエ	ロー！
cép	a=súypa	wa	a=é	ro!
魚	私達が〜を煮る	…して	私達が〜を食べる	…しよう

4．

ス	クフライェ	クス，	チェㇷ゚	エフライパ	ワ	エトゥイパ	ヤㇰ	ピㇼカ.
sú	ku=húraye	kusu,	cép	e=húraypa	wa	e=túypa	yak	pírka.
鍋	私が〜を洗う	…だから	魚	お前が〜を洗う	…して	お前が〜を切る	…するとよい(…して下さい)	

日本語訳

1．私達が川に下りて魚をたくさん獲ってきたんです。
2．私が海のそばに下りて釣りをしたけれど、１匹も獲れなかった。
3．魚を煮て食べよう！
4．私が鍋を洗うから、魚を洗って切って下さい。

単語

- ラㇷ゚［下りる（複数形）］
- アトゥイ［海］
- サン［流れる、下りる］
- コㇿカ［…けれど］
- エアイカㇷ゚［…できない］
- スイェ［〜を煮る（単数形）］
- フライパ［〜を洗う（複数形）］
- トゥイェ［〜を切る（単数形）］
- クアニ［私］
- サㇺ［…のそば］
- ペライ［釣る］
- コイキ［〜を獲る］
- スイパ［〜を煮る（複数形）］
- フライェ［〜を洗う（単数形）］
- トゥイパ［〜を切る（複数形）］

アイヌ語の解説

■動詞の単数形・複数形について

自動詞の場合には、主語が単数か複数かによって動詞の形が決まります。しかし、他動詞の場合には、目的語が単数か複数かによって、あるいはその動作の回数によって決まります。

例文4では、主語の「私が」「お前が」はともに単数であるのに、動詞は「フライェ」「フライパ」となり、単数形と複数形を使っています。これは、鍋は1つしかないが、魚は何匹もいるので、何回（何匹）も洗わなくてはならないからです。

使えるひとこと

◇　エレヘ　ネコナ　アイェ？（e=réhe　nékona　a=yé?）「名前は、何といいますか？」
名前を尋ねるときに使えます。

MEMO

アイヌ文化の紹介　「コタンカルカムイ」は「オキクルミ」か？　③

ずいぶんたくさんのカムイの名前が出て来ましたが、その共通点は次のとおりです。

① 人間の世界を創造したカムイ
② 海の中へ入って膝までしか濡れない程の巨漢であるカムイ
③ 巫術をするカムイ
④ arke　kamuy　arke　pito　半分神で半分人であったカムイ、人間くさいカムイ

これらの共通点を持った、いろいろな名称のカムイを「サマイクル」＝「コタンカルカムイ」と言ったものです。

Lesson 8 「私の～（所有）」について ①

例文

1．

エコロ	セタ	エトゥラ	ルウェ？
e=kór	setá	e=túra	ruwe?
お前の	犬	お前が～を連れる	か

2．

クコロ	セタ	カ，	クトゥレシ	カ	クトゥラ	ルウェ	ネ.
ku=kór	setá	ka,	ku=túresi	ka	ku=túra	ruwe	ne.
私の	犬	…も	私の妹	…も	私が～を連れる	…である	

3．

エカシ	コロ	マキリ	クユピ	エイワンケ	シリ	クヌカㇻ.
ekási	kór	makíri	ku=yúpi	éywanke	siri	ku=núkar .
祖父	の	小刀	私の兄	～を使う	様子	私が～を見る

日本語訳

1．あなたの犬を連れて行ったのかい。
2．ぼく（私）の犬も妹も連れて行ったよ。
3．おじいさんの小刀を兄さんが使っているのを見ました。

単語

● コロ［～を持つ］
● トゥラ［～を連れる］
● トゥレシ［（兄から見た）～の妹］
● マキリ［小刀］
● エイワンケ［～を使う］
● セタ［犬］
● カ［…も］
● エカシ［祖父］
● ユピ［兄］
● ヌカㇻ［～を見る］

アイヌ語の解説

■所有の表現について

例文2の「クコロ　セタ（私の犬）」と「クトゥレシ（私の妹）」の両方とも「私の～」という所有の表現です。しかし、「クコロ　トゥレシ（私の妹）」とすることはできません。

「犬」のように他人にあげることのできるものの場合には、「コロ（～を持つ）」という動詞を用いて、妹などの親族名称などの場合には、その名詞の所属形に人称接辞を付けることが多いのですが、名詞の所属形については、ここでは詳しくは取り扱いません。

使えるひとこと

◇ クアニ　アナㇰネ　上武和臣　（kuáni　anákne　上武和臣）　「私は、上武といいます」
◇ クレヘ（アナㇰネ）上武和臣（ku=réhe（anákne）上武和臣）「私の名前は、上武和臣といいます」

自己紹介、自分の名前を言うときに使えます。

MEMO

アイヌ文化の紹介 「コタンカルカムイ」は「オキクルミ」か？ ④

千歳地方の伝承では、「コタンカルカムイ」がシコツパラト（支笏湖）を造って、そこへ魚を放した。どの位深いかを見るためにその中へ入り睾丸まで濡れてしまった。コタンカルカムイは「俺は海の中へ入っても膝までしか濡らさぬのに!」と怒って、せっかく自分が放した魚を皆海へ投げてしまった。その時雌魚が一匹だけ残って、それからアメマスができたのである。

Lesson 9　「私の～（所有）」について　②

例　文

1．

クサパハ	アラカ.
ku=sápaha	árka.
私の頭	痛い

2．

タン	チェプ	アナク	ミミヒ	カ,	チポロホ	カ	イヨッタ	ケラアン.
tán	cép	anák	mimíhi	ka,	cipóroho	ka	iyótta	kéra án.
この	魚	は	身	…も	筋子	…も	一番	おいしい

3．

カカウェヘ	パテク	アタタ	ワ	アエ	ルウェ？
kakáwehe	patek	a=táta	wa	a=é	ruwe?
氷頭	…だけ	人が～を刻む	…して	人が～を食べる	の

日本語訳

1．頭が痛い。
2．この魚は、身も筋子も一番おいしい。
3．氷頭だけを刻んで食べるんですか。

単　語

- サパハ［頭（所属形）］
- タン［この］
- チポロホ［筋子（所属形）］
- ケラアン［おいしい］
- パテク［…だけ］
- アラカ［痛い］
- ミミヒ［魚の身（所属形）］
- イヨッタ［一番］
- カカウェヘ［氷頭（所属形）］
- タタ［～を刻む］

アイヌ語の解説

■所属形について

名詞の所属形には短形と長形とがありますが、意味や用法に違いはありません。その作り方は、名詞の概念形の最後の音によっておおよそ決まりますので紹介します。

カッコでくくられた部分は、長形の語尾です。

◇ 母音で終わっている場合

短形は概念形と同じで、長形はその短形の最後の音と同じ段のハ行音を付けた形になります。

サパ sapá　→　サパ（ハ）sapá（ha）「頭」

◇ イやウで終わっている場合

イをイェ（へ）、ウをウェ（へ）に変えた形になります。

カカウ kakáw　→　カカウェ（へ）kakáwe（he）「氷頭」

◇ イやウ以外の子音で終わっている場合

単語によってことなるので、それぞれを暗記するしかありません。

ミム mim　→　ミミ（ヒ）mimí（hi）「魚の身」
チポロ cipór　→　チポロ（ホ）cipóro（ho）「筋子」

使えるひとこと

◇　エコタニヒ　ネコナ　アイェ ？（e=kótanihi nékona a=yé ?）
「どちらにお住まいですか（おまえの村は、どう言うの）？」

出身地を尋ねるときに使えます。

アイヌ文化の紹介

「コタンカルカムイ」は「オキクルミ」か？　⑤

知里幸恵の「アイヌ神謡集」の中には3人のカムイが登場します。この3人は従兄同士であったとも言われています。

◇ オキクルミ ……………… 神のように知恵と勇気があって情け深い。
◇ サマユンクル ………… 短気で知恵が浅くあわてもの。
※北海道東部ではオキクルミとサマユンクルの性格が逆転します。
◇ シュプンラムカ ……… 一番年上で内気。

非常に人間に似た関係を持っています。なお、天のカムイはカントコルカムイ（kanto-kor-kamuy）「天国を所有するカムイ」で、コタンカルカムイは常に「天のカムイ」の神意を伺います。その使者になるのがカワウソだったのです。

Lesson 10　「主語と目的語の関係（不定人称）」について

例　文

1．	カムイ	オㇿ	ワ	アイヌ	アライケ	オルㇱペ	クヌ	アムキㇼ.	
	kamúy	or	wa	áynu	a=ráyke	orúspe	ku=nú	ámkir.	
	クマ	…に	（から）	人間	人が～を殺す	話	私が～を聞く	…したことがある	

2．	ヌマハ	フレ	ㇷ゚	アナㇰ	アシトマ	ㇷ゚	ネ	ルウェ	ネ	コロカ，
	numáha	húre	p	anák	a=sitóma	p	ne	ruwe	ne	korka,
	毛	赤い	もの	は	人が～を恐れる	もの	～である	…のである		…けれど

ヌマハ	クンネ	カムイ	アナㇰ	パセ	カムイ	ネ	ルウェ	ネ.
numáha	kúnne	kamúy	anák	páse	kamúy	ne	ruwe	ne.
毛	黒い	クマ	は	偉い	神様	～である	…のである	

日本語訳

1．クマに人が殺された話を聞いたことがあります。
2．毛の赤いのは恐ろしいものだが、毛の黒いクマは偉い神様なんだ。

単　語

- カムイ［神、クマ］
- ライケ［～を殺す］
- ヌ［～を聞く］
- ヌマハ［毛、…の毛］
- シトマ［～を恐れる］
- クンネ［黒い］
- オㇿ　ワ［…に（から）］
- オルㇱペ［話］
- アムキㇼ［～したことがある］
- フレ［赤い］
- コロカ［…けれど］
- パセ［重い、偉い］

アイヌ語の解説

■不定人称について

アイヌ語では、**必ずしも主語が目的語の前にくるとは限りません**。例えば、例文1を「カムイ　アイヌ　ライケ」とすると、「クマが人間を殺した」または「人間がクマを殺した」のどちらの意味にもとれます。

このような場合に、不定人称の「ア」を用いて「アイヌ　アライケ」とし「人間が殺された」とし、クマを「カムイ　オㇿ　ワ」として、「クマに人間が殺された」という文にすることがあります。

「オㇿ　ワ」というのは「～から」（起点）という意味もありますが、この場合には「～に」と訳されることに注意してください。

使えるひとこと

◇　クコタニヒ　幌別　アリ　アイェ（ku=kótanihi　幌別　arí　a=yé）
「私は、幌別に住んでいます（私の村は、幌別と言います）」

出身地を言うときに使えます。

MEMO

アイヌ文化の紹介　「コタンカルカムイ」は「オキクルミ」か？　⑥

平取町に住む黒川伝蔵エカシは私にこう話してくれました。

「オキクルミは桂の木の皮で作ったよろいを着ている。平取のオイナカムイが年をとって神の国（天）へ帰ってしまったので、カントカルカムイは一番末っ子のカムイを使わした。それがオキクルミである。」

現在、伝承されているコタンカルカムイはオキクルミの事と思って良いのではないでしょうか。

（知里真志保著作集2＜平凡社＞「呪師とカワウソ」－アイヌの創造神コタンカルカムイの起原的考察－　より）

Lesson 11 「主語や目的語を強調する（人称代名詞）」について

例　文

1．

クアニ	カ	クペウレ	ヒ	タ	ユㇰ	カ	クコイキ，
kuáni	ka	ku=péwre	hi	ta	yúk	ka	ku=kóyki,
私	…も	私が若い	時	…に	鹿	…も	私が～を獲る

カムイ	カ	クコイキ.
kamúy	ka	ku=kóyki.
クマ	…も	私が～を獲る

2．

クアニ	アナㇰ	カムイ	クヌカㇻ	ヤクン	クキラ	ナンコㇿ.
kuáni	anák	kamúy	ku=núkar	yakun	ku=kíra	nankor.
私	は	クマ	私が～を見る	…ならば	私が・逃げる	…だろう

日本語訳

1．私も若い時には、鹿やクマを獲りました。
2．私はクマを見たら、（恐くて）逃げるだろう。

単　語

● カ［…も］
● ヒ［時］
● ユㇰ［鹿］
● ヤクン［…ならば］
● ナンコㇿ［…だろう］
● ペウレ［若い］
● タ［…に］
● ヌカㇻ［～を見る］
● キラ［逃げる］

アイヌ語の解説

■人称代名詞について

アイヌ語で人称を表す場合には、主に人称接辞が用いられるので、人称代名詞はさほど頻繁には使われませんが、「あの人ではなく、私が」などのように、主語や目的語を強調するときに使われます。

また、例文1の「カ（…も）」などの副助詞を使って「私も」などの意味を表す場合にも人称代名詞が使われます。ただし、人称代名詞を使っても人称接辞を省略することはできないことに注意してください。

（正）クアニ　カ　クイペ　ルスイ　ナ
kuáni　ka　ku=ípe　rusuy　na．
私もお腹がすいたな。

（誤）クアニ　カ　イペ　ルスイ　ナ
kuáni　ka　ipé　rusuy　na．

使えるひとこと

◇　ネㇷ゚タ　アン？（nép-ta án?）「何ですか？」
知らないものを尋ねるときに使います。

MEMO

アイヌ文化の紹介　オイナ　ソー（oyna so）「巫に入るよ、それ」①

知里幸恵の「アイヌ神謡集」は有名ですが、弟の知里真志保は「続アイヌ神謡集」として19篇の「神謡集」を遺しています。これは幌別出身であり伯母でもあった金成マツから聞いたもので、日本語訳で書かれています。その中のひとつ「オイナ　ソー」の概略を紹介します。19篇ともたいへんおもしろい内容なので、機会があればぜひ読んで欲しいものです。

なお、「オイナ　ソー」と一句ごとに句の始めに折り返しをつけて歌ったものです。

※巫：忘我状態になって神と直接交流して、その力を借りて予言をしたり治病をしたりする。

Lesson 12 「シリ」「ハウェ」の使い方について

例　文

1．

クコㇿ	カッケマッ,	ネコナ	エイキ	シリ	アン？
ku=kór	kátkemat,	nékona	e=íki	siri	an?
私の	奥さん	どう	お前がする	様子	か

2．

吉田	ニㇱパ	エㇰ	ハウェ	ネ	クス,
Yoshida	níspa	ék	hawe	ne	kusu,
吉田	～さん	来る	…という話だ		…だから

ピㇼカ	アエㇷ゚	クカㇻ	シリ	ネ	ワ.
pírka	aép	ku=kár	siri	ne	wa.
良い	食べ物	私が～を作る	様子	～である	…よ

3．

ネコナ	イキ	ワ	ニㇱパ	ネ	ハウェ	アン？
nékona	ikí	wa	níspa	ne	hawe	an?
どう	する	…して	裕福	…なる	…というの	

日本語訳

1．どうしたんだい？
2．吉田さんが来るというからおいしいものを作っているのよ。
3．どうやって裕福になったというんだ。

単　語

- カッケマッ［奥さん］
- イキ［する］
- アエㇷ゚［食べ物］
- シリ［様子］
- ネコナ［どう、どのように］
- エㇰ［来る］
- カㇻ［～を作る］
- ニㇱパ［裕福、お金持ちの男性］

アイヌ語の解説

■「シリ」「ハウェ」の用法について

「シリ」「ハウェ」には、それぞれ「目に見える様子」「声」などの意味のほかに、ルウェと同じように文末に置くことで、どのような情報をもとにして話しているのかを伝える働きがあります。

「シリ　ネ」は見た様子から判断・推測したことを伝え、**「シリ?」や「シリ　アン?」は見ている様子について尋ねるとき**に使います。

「ハウェ　ネ」は他人から聞いた話をもとに判断・推測したことを伝え、**「ハウェ?」や「ハウェ　アン?」は声（言葉）から判断されたことを尋ねるとき**に使います。

使えるひとこと

◇　イペアン　ロー！（ipé=an ro!）「食事しましょう」
「いただきます」という意味で使える言葉です。

MEMO

アイヌ文化の紹介　オイナ　ソー（oyna so）「巫(みこ)に入るよ、それ」　②

私たち夫婦は一人の可愛い子どもと神の恵みを受けて幸福な生活をしていましたが、夫が山猟に出かけている留守に、弁財船の船員たちがやって来て、私を船頭の女にしようと可愛い子どもを殺して船に連れこみました。

私は必死に抵抗しましたが、とうとう帆柱にしばりつけられました。『けがらわしや!きたならしや!にくい和人の罰あたりめ!』と罵言(ばげん)をあびせましたがどうにもなりません。

Lesson 13 「…している」について

例文

1．	まさお	ソイ	タ	ポン	ク	エシノッ	コㇿ	アン.
	Masao	sóy	ta	pón	kú	esínot	kor	an.
	まさお	外	…で	小さい	弓	～で遊ぶ	…している	

2．	たかし	チセ	オッタ	モコㇿ	ワ	アン.
	Takasi	cisé	or ta	mokór	wa	an.
	たかし	家	…中で	眠る	…している	

3．	チェㇷ゚	クエオッケ	クス，	マレㇰ	クカㇻ	コㇿ	クアン	ワ.
	cép	ku=éotke	kusu，	márek	ku=kár	kor	ku=án	wa
	魚	私が～で～を突く	…するために	突き鈎	私が～を作る	…して	私がいる	…よ

日本語訳

1．まさおは外でおもちゃの弓で遊んでいます。
2．たかしは家の中で寝ています。
3．魚を突くために、マレクを作っているんだよ。

単語

- ソイ［外］
- ポン［小さい］
- コㇿ　アン［…している］
- オッタ［…中で］
- ワ　アン［…している］
- クス［…するために］
- タ［…で］
- エシノッ［～で遊ぶ］
- チセ［家］
- モコㇿ［眠る］
- エオッケ［～で～を突く］
- マレㇰ［突き鈎］

アイヌ語の解説

■「…している」の表現について

「コㇿ　アン」と「ワ　アン」を日本語に訳すと、どちらも「･･･している」となりますが、アイヌ語では次のように使い分けます。

「コㇿ　アン」は動作の最中であることを意味し、「ワ　アン」はある行為が終わってその結果が意味されるときに使われます。ですから、例文2に「コㇿ　アン」を用いると、「今まさに寝ようとしている（眠りつつある）」という意味になります。

また、「アン」は自動詞なので、主語の人称を表す必要があるので、例文3のとおり、「コㇿ　ク　アン」となります。

使えるひとこと

◇　イクアン　ロー！（ikú=an　ro!）「飲みましょう」
「乾杯」という意味で使える言葉です。

MEMO

アイヌ文化の紹介

オイナ　ソー（oyna so）「巫(みこ)に入るよ、それ」　③

夫が山から帰ってその事を知り、子どもが殺されているのを見て涙を流して口惜(くや)しがりました。神の力を持っている夫は海中を泳いで弁財船の底に穴をあけ、和人の船頭たちと共に船を沈めて私を助けてくれました。そうして家へ帰って死んだ吾が子を抱いて神々に祈りましたら吾が子が生命を取りもどし、又親子3人の幸福な生活を始めました。

この夫もカムイ（人間くさいカムイ）であったのでしょう。着目すべきことは、和人の弁財船の船員たちの悪業が神謡の中に入っているという事実です。

（知里真志保著作集1＜平凡社＞　アイヌの神謡（一）より）

執筆者　富　樫　利　一